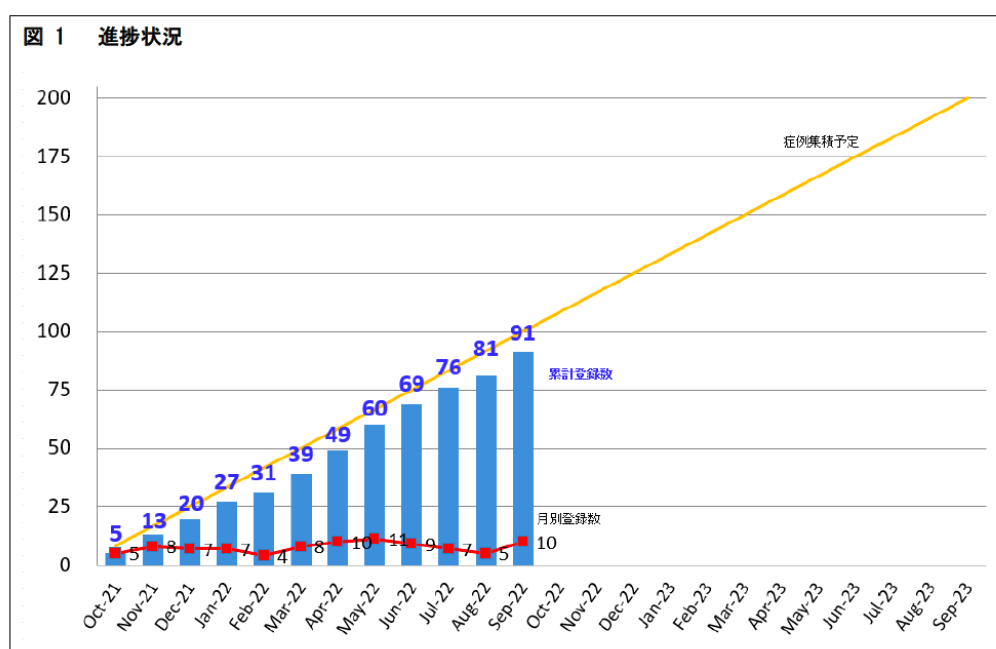


症例集積が遅れたら

症例集積が遅れることも多々あります。そのような場合どうしたら良いのでしょうか？

症例集積が予定以下だと有意差が得られなくなる危険があります。



定期的に Boost Up Meeting を開催しましょう。

2年の集積期間であれば6ヶ月に一度程度の Boost Up Meeting を計画しておくが良いでしょう。以前は対面集合しての Meeting 開催でしたが、現在はウェブ開催が容易になりました。進捗状況報告を行い症例登録推進の依頼を行います。主題に関する新しい情報、著効例報告、安全性報告など参加者の興味のある話題を盛り込むと良いと思います。

新規登録毎の逐次メールも効果的です。

新規症例が登録される度に、参加施設にメールを出すことも効果的です。研究参加表明をしても症例登録の無い施設も多く見られます。適格基準に合致した症例があっても見逃していると考えられます。逐次メールを受け取ることでリマインド効果があります。

月例報告

月例あるいは隔月に症例の進捗状況を含めた「月例報告」を出しましょう。研究代表者ならびに事務局からのお知らせを掲載すると効果的です。

研究代表者の熱意

症例集積を完遂するためには研究代表者(PI)の熱意がもっとも重要です。PI は常時症例集積状況に注意し、遅れが生じた場合には的確な処置を行う必要があります。

参加施設に直接症例登録の依頼を行う。新規参加施設を選択する。症例登録が多い施設に更なる登録を依頼する。等など PI の熱意が最も大切です。